

ドライクリーニング店へのヒヤリング調査

〔2010/4月〕 全国商工団体連合会

県連	民商	溶剤の管理	調査事項に関する要望	その他	日頃感じている不安や要望
北海道	札幌北	調査はなかった	「札幌市クリーニング店の3月部会」において、この間の騒動については「落ち着きを見せるのが8月くらいであろう」と静観する構えであったとのことでした。ところが予想より早く容認の情報が流れてきた、部会では今後とも様子を見るという流れ。本件に関しては冷却装置、溶剤チラーについて最初から入れているので全く問題がないとのこと。		
		札幌市から「現在緩和措置も含めて検討中」との連絡があり、ヒヤリング調査は提出していない。	札幌市が「50㎡以下であれば現状のまま」と言ってきているらしい。7月までに市が一定の方向を決めるようなので、その結果を待たせてほしい(事務局ヒヤリング)		
	旭川	屋外、タンク	なし	なし	なし
		ドライ缶に入れて野外に置いて必要に応じてドライ機械の中に入れて使用する。			
		工場においてある	保険所に営業許可を出した際に引火性溶剤をすすめていた。他は発がん性があるから等ということだったので、今更言われても困る。	100万円のボイラーの入れ替えさえできないのに、それ以上の設備や移転などができるわけがない。廃業するしかない。今はなるべくしかならないと考えている。	TVで報道があってから近所のお客さんに、「お宅は大丈夫？」と言われた、まるでうちが悪いことをしているようで困る。
	帯広	ドラム缶に置き、使用するたびに少しずつ出している。	売上、利益が減少している中で建て替えなどできない	仕入、溶剤、2倍近く上がっている、低価格で入荷できるよう	表示を見て(中国製)あまりよくないように思う
苫小牧	外部者の入らない建物に保管	すでに営業をしている場所での機械の入れ替え及び建物の修繕、建て替えの許可	新しい繊維素材と洗いに関する商品表示を実用的な洗濯方法で検証した結果をもとに表示するよう法改正をしてほしい		
	長年、安全管理実行	存続できるよう支援求める	価格の安定供給を	低価格でよい溶剤、引火性のない溶剤の開発	
新潟県	中条	ドライクリーニング機内に密封されています			
	新発田	在庫(缶としての)はしていない。洗濯機械(溶剤入っている)のスイッチを切らず、年中作動させている。市からの調査あった	揮発した溶剤を回収する機械もあるが(200~250万円)高額で設備できない	今まで通り商売が安心して続けられるようにして欲しい。昭和50年に建て替えた時も建築基準法の問題があったが、営業継続してきたので続けられた	
		委託しているので直接影響はない。市からの調査はない	委託先が規制対象になると現在の営業活動が続けられなくなるので困る(委託先が廃業などの場合、なかなか次の委託先がない)	パークで健康被害あるようだ	石油製品の値上げ止めて。下がった時は下げて(上がってます)。ガソリン代の上昇も訪問に影響が大きい困っている。ガソリン代のかかる遠方のお客を常連でも切らなければならない
		市の調査あり。環境問題(汚水も)に対応するのも大変だ			

新潟県	阿賀野	密封管理して、必要に応じて出す	建物の修繕・拡張の時、規制があるのが心配	環境問題や人体への影響等も考えてやっている	材料の高騰で利益が少なくなっている。生活スタイルの変化で営業が厳しい。良い物を大事に使うのでなく、安い物を使い捨ててしまう傾向が強い
	阿賀野	機械の中に貯蔵されている。野外のタンクに入れていたが、今回の調査で違法と分かって変更した	自治体によっては立ち入り調査もあったようだが、ここはなくて良かった		景気が悪く、仕事は減っている。大変厳しい
新潟県	新潟	ドラム缶で管理	ある機関から問い合わせがあったが、「私が30数年前に営業始めた頃は、畑の真中だった。その後、住宅が建ち、区外化地域になってきた」と話したら、「それ以上は求められない」と納得したようだ。(本当はダメだが、既得権かと)	・火災の危険性があるのは大きいところ。高温乾燥するから(急いで)静電気(爆発)が発生しやすい。または、海面活性剤(ソープ)をケチると静電気がおきやすい(小さい業者)。・不燃性のものは、環境や人体によくない(業者の死期が早まる)。不燃性を使用すれば設備が高騰する。それなら廃業していくしかない。	
	新潟		県から、所有している機械を聞くアンケートが来て回答した。組合は5年前に辞めたので他に情報はない。従来通り営業できるようにしてほしい(自分の地域は居住専用地域)		
新潟県	新潟	パーク溶剤を使っていない。引火性溶剤は消防法によって規制されている。民主党の議員の質問でこの騒ぎになったのでは。溶剤の保管方法が強化されるのか心配している	住宅増改築で店を改築すると機械があるともう営業ができなくなる。既存店の強化にならないようにしてほしい。当店は溶剤は機械にはいっているのみで、別途保管することはしない。機械の中には180ℓの溶剤はいっている		
	新潟	汚れを特に落ちやすくするために、毒性の強いパークロールエチレンを使用している。水質検査(保健所)、配剤は特定の業者に年3回、18000円をかけて回収してもらっている。溶剤が漏れないように厳重にしている		溶剤が漏れないよう日頃から努力している。都市部の業者の杜撰な管理の影響を受けたのでは大変困る	溶剤のゴミに対して援助をしてほしい
	新潟	量が少ないが、引火性溶剤も少し使っている	市からの調査に回答して送った。使用しているドライ溶剤の種類や量を記入、他に店の面積、どんな機械を使っているかを記入した。	規制強化がすすめば、郊外で機械を持って行ってするしかなくなるのではと不安。そうなれば廃業するしかない	
		家から離してドラム缶に保管している。そのことを消防署に届出している。	今のまま実施されると、クリーニング業者の90%が廃業になる。小さなクリーニング店を守ってほしい		

新潟県		タンクに入れて管理していません	規制が強化されると機械を新たに購入しなければならないので、もしそうなれば機械を安く購入できるようにしてほしい			
		必要な分を必要ときに業者に納品してもらっています	安全性だけ考えて、設備機器が必要ならば国から無利息で借り入れできるようにしてもらいたい		クリーニング店に限らず、県市などで、規制強化など、何がしたいのか良く分からない	
	佐渡	特別の管理はしてない	2年前から石油系溶剤が3000円から4500円に値上げ、ビニール包装袋、ハンガー等が高騰、料金に転嫁できず困っている		* 現時点で調査はきていない	
	燕	場所を決めて管理していません		灯油関連の値上がりは私どもクリーニング店にとっては、重大なことである		ボタン等に対しこわれやすくなっている。これは弁償しなければならない
		特定の場所決めて管理している	安全の為に用途強化は大切かもしれないが、業界や中小の経営者の現状も考えた現実的な規制にして欲しい	どんな溶剤も使用法や管理が悪ければ問題になる。なんでも規制するのではなく安全指導等、使用者の注意喚起した方が良いのでは？		デフレの進行による衣料品の低価格化に伴うクリーニング料金の低価格化を懸念しています
	加茂	缶入(18ℓ)を3缶ほどおいています	現状のまま営業できるように	溶剤の低価格、安定供給を		各家庭がクリーニング品を出さなくなっているの で、先が見通せない* 加茂・田上支部(クリーニング)ですでにアンケート実施(3月末)提出した
	長岡	機械の中に入っている	全国のクリーニング生活衛生同業組合連合会にまかせてある(全国が動いている)	また上がってきて大変		住宅地域で営業しているが、ここでできなくなると大変
		ロータリーで溶剤が来たら、直接機械に入れてもらう。ドラム缶等に入れて保管はない	規制強化はとても困る	溶剤の低価格を求める		客が減っている。品物(衣服)が変わってきている。自分で洗えるようなものになっている。鉄工界が不景気で影響がある
	埼玉	川口	機械のベースタンクに入れ使用しています。溶剤の不足をみて業者をお願いしてポリ容器で持ってきてもらってる	個人の営業は狭いところでやっています。色々厳しい事言われたら大変です。	石油系溶剤が値上がりしています。家庭で何でも洗える宣伝、仕事が少なくなっている。	いつ迄この仕事を続けられるか心配です。不安だらけです。大手は値下げ、取次ぎ店もすぐ値下げをして生きのびるのが大変です。
		川口	数年前迄は大きなドラムに入れ室外に置いていたが、雨水や地下からの自然な水が入ったりしたので止め、現在は20ℓ入りポリタンクに入れ不足した時点で業者に入れてもらっている。ホイラーから離れている所に安全に備えています。	個人店は大概、店が狭く立地条件は悪いがそれでも仕事のし易い店を保っている努力はしていると思う。大企業の嫌がらせがこの様な調査を始めたのではないかと個人が集まって共同事業が出来たら少しは撥ね返す事ができないだろうか。	上質の石油系の溶剤は以前に比べてもガソリンよりも高い。これから衣替えの時期を向かえる為、使用量も増えるので価格を下げてもらわないと安いコストの大企業の取次店に立ち向かえない。大企業は最低品質の溶剤を使用していると思うので、体に対して大きな影響があるはず。	以前に比べ材質の粗悪な品が増えているように感じる。色掛けの方法が目に見えず、対応に困る時も多い。弁償せず安心して仕事が出来れば助かる。

埼玉県	草加	貯蔵1件容量が決められているが配達等の関係もあり、守っていたら仕事にならず。別に密かに蓄えておくしかない。又、引火性溶剤の場合、壁を全てコンクリートに等言われているが小規模の店では無理。	(例)の通り。オイルショック以来溶剤激高。先週も上がった。安全性の高い溶剤は高すぎて手が届かない。又、この調査が行われているために機械屋から購入の規制がかけられている。調子の悪い機械を騙しだまし使っている。機械屋の方も売れずに困っているという話。		大規模店には値段の点でも太刀打ちできず。原料の高騰もあり、息子は早くから店を見限り後を継いでいない。税金も高すぎる為商売を続けている意味が分らなくなり始めている。
	坂戸	以前より量を少なく(30ℓくらいまで)店の倉庫で保管。	建物の改修とかで営業の規制になってしまうか心配。機械も火災が発生しないようなものに改良してほしい。		
	坂戸	一斗缶で2缶以下。店の倉庫で保管。	40年以上やっていて、今回急にこんな話が出て驚いている。	溶剤の臭いなど近所に苦情がないか聞いたり工夫している。又、精製度の高い良質なものを使用していく努力をしている。	
	深谷	ドライタンクと機械の中		材料が値上げして来ている	建替えの時が不安。今の場所で仕事が出来なくなる。後継者がいないので長くは続けられない。
	深谷	ドラム缶		機械が高すぎる	売上が減っている。使い終わった液は、産業廃棄物として業者に引き取ってもらっている。
	深谷	ドラム缶と機械の中	パークレン・エタン・トリクレチレン等は発がん性が指摘され使用しない様になり、今はニューソルトに替えている。安全で安い用材を作してほしい。		安売が多すぎて売上が減少。埼玉県で1400～500軒あったが今は600軒くらいになっている。
愛知県	尾北	使用分ドライ機内の分100ℓ。予備18ℓを2本分位保管	現時点に規則がかけられたら廃業するしかない。あと何年、営業が続けられるか、なるようになれ—の心境	仕事が少ないので使用料も少ないのでどうってことない。	取次店の増大のため、経営が苦しく平成になってから厳しい財政に苦しんでいる。
		毎月60～80ℓ置いてある	現況で認めてほしい	価格が高く、低価格で安全供給を	溶剤、燃料、管理に不信感が持たれている
		ドラム缶	規制反対。今までやって来たことを変えないでほしい		
			建築基準法通りになると全国の90%以上のクリーニング店が営業できなくなる	パークロール等非引火性溶剤は毒性(発がん性)が強く、営業言許可の保健所がNO。仮にフッ素系パーク系があっても石油系もなければ新しい素材に対するクリーニングができないこともある	輸入品だけでなく、洗えない衣料が増えている。輸入品には日本での洗い方の基準が適用されないことも多い
	店保管		そもそも石油系の溶剤を使用するクリーニング業が違法という建築基準法を是正してほしい。引火性が強いので危ないのは石油ストーブを使うのも同じです。営業許可を持っていない店が調査されていないこともおかしい	現在、クリーニング業の組合に入っているが組合の方から今回のことにはおとなしくしておくようにとの指示があった。不満で組合を離れる人が増えている。	今回の件で不満を持っている仲間はたくさんいる。民商が動いていることを仲間に伝えます。

	プラスチックの容器に入れて保存している	市役所から保存状態に関する調査があり、書類で回答。組合からは廃業が続出することを懸念して規制内容が基準とした石油溶剤を守れば問題なく営業できることに変わったときいている。なので、かわらず営業できるし要望も特にはないです。		売上が下ってきてる
	一斗缶を設備機械から離して保管。熱かったら触らないよう注意している	今まで容認だったのに急に連絡があつてびっくりしている。とりあえずなぜ今なのか聞きたい		
	石油系溶剤を使用しているが、仕入業者に管理してもらっている。市役所の調査回答も仕入業者にやってもらった	仕入業者に問題ないといわれているので安心している。特にありません		仕事がすくなくなってきた
	火気より離れたところに最小で管理している	今の状態のまま存続できるように	非石油系溶剤はすぐに値上げになるが、クリーニング代は上げられない。低価格の安定供給を。	ジャンパー等の飾り等すぐに取りれてクレームの原因になっている。品物が中国製が多いせいか縮んだりとクレーム
大東	ドライ機の中に入っている分だけ(必要な分)その都度、業者から取り寄せる。備蓄はしていない。	開業以来40数年、何の問題も事故もなく安全に営業してきた実績を認めてほしい	今回、問題があつたのは大手業者であり、大手と個人を同一視して規制されても資金力もなく、移設、機械の導入等、到底無理です。	ライフスタイルの変化、輸入品(粗悪品)によるクリーニング事故多発に加え、不況の波ももろに受け、生活していただくだけで精一杯です。しかし、仕事が半減し、その分のゆとりが安全感知の強化につながっていると考えております。
守口	火気厳禁で少量で一斗缶に保管	非石油系溶剤は機械も溶剤も非常に高価で、今使用している石油系の機械から切り替えできません。その上、非石油系溶剤の機械に切り替えたとしても料金を維持することができず、結局、廃業に追い込まれてしまいます。現在、普及している石油系溶剤でも安全性が高いと思いますので大手だけが生き残るといような規制強化は止めていただきたい。街の個人クリーニング屋さんがなくなってしまうと思います。生活やっていけません。		規制強化による不安。石油価格高騰によるコスト増、科学繊維素材の服の普及(フリースなど)家庭用洗濯機の高性能化、課程用選択溶剤の高性能化、コスト増を料金に反映できないジレンマ。大手取次店の低価格戦略。
	18ℓ缶、2缶を安全なところに保管しています	なし	燃料費、溶剤が高く打撃を受けている	材料費が高いので、安くしてほしい
	ポリ容器(18ℓ)で保管	今の営業に規制される強化は止めてほしい	溶剤の低価格	クリーニング店に出す品物が減っている、ノーアイロンの生地、家庭用洗濯機の高性能化
	ポリ容器で保管、廃油は業者に引き取ってもらう	なし	なし	仕事がない
豊中	かなり前からタンクローリー車での供給で、手元には10ℓしか置かないようにしている。	個人営業店に大手クリーニング業者並みの規制がかけられたら廃業しろと言っているみたい。	クリーニング業で早い、安居、きれいは無理な話。どこかに必ず無理が出ます。	マスコミがちゃんと範師を整理してニュースを流してほしい。

	100ℓの容器のみに入れて保管。減った時は業者に来てもらい補充してもらう	これ以上、設備にお金をかけられない。あと少し働ける間は営業を続けていきたい。融資ではない支援策を	非石油系溶剤の臭いの改善と低価格化	単価が安くてやっていけない。商品の表示がいい加減(中国製品等)
	別に囲って置いている、	特にない。まだはっきりわからない。	大手に規制をかけてほしい	大手のようにやらないと小さい店がつぶれてしまう。新しく始める人が大変になる。
	18ℓ缶で少しづつ購入			ゾールが使用できないのであれば水洗いのできる製品を作してほしい
	18ℓ缶で2缶ずつ買っております		パークロエチレンを使用しておりましたが、コストが高く、洗えない品物が多く。石油系溶剤に変えました。	
	ドライ機のベースタンクに約150ℓ使っている。溶剤が30ℓ位になると業者から補充してもらう	規模の違いにより使用する機械、手法が全く異なり、それによる案税制、危険性も大きく変わることも細かく調査し、それぞれにあった規制の必要性を検討すべき。危険物取扱の視覚を持つ管理者がいるにもかかわらずこれ以上の規制をされ、多くの機材の導入に必要性を感じない。	現状の機材、管理などコストがかからず店舗で営むことができることを望みます。	クリーニングがほぼ不可能な生地や付属品(ボタンやファスナー)が弱くてつぶれやすいものなど特に高級ブランド品に多く。商品に使用する際には「洗う」ことも考慮してほしい
	溶剤の在庫を今までより少なくしている	環境問題などを考えると存続できるような規制なら負担と不便さはやむを得ない	原油の価格が下がっているのに溶剤の価格が下らないのはなぜか	
	ドラム缶で管理	用途地域の強化は設備機械の購入など営業の存続にかかわる。存続できるような支援を求めたい。		
平野	ドライゾールは20ℓづつ入れて減った分だけ買うようにしています	クリーニング店は非常に厳しいところまで来ていると思います。ポイラー・ドライ機、乾燥機の価格が高くて困っています	ドライゾールはガソリンスタンドに入れてもらっています	お客様が取次店に持って行き、困ったときだけこられるので断るようになっています
平野	1カ月に18ℓ缶およそ1本くらい使用しております。残り溶剤には十分注意して安全に気をつけております	私どもの小さな店までも大手と同じように見られると非常に困ります。今回規制によりこれから厳しくなれば止めるしかありません	クリーニング料金はあげることができません。溶剤の価格安定することを願っております	輸入品が多く、毎日洗濯に大変気を使います。失敗すれば高くつきます。メーカーは安全な物を販売してもらいたい
	なくなれば資材店に注文する	昔からの店なので今になって規制されても困る		

大阪	2～3缶置いている	今まで通りに存続できるようにしてほしい	機械を買い替える資金がない。設備に回す資金がない	(自宅で)洗濯できる商品が増え、品物が激減した
都島	18ℓ缶を10缶単位で買うと単価を少し安くしてくれるので買っていました。これからは保管が厳しくなりそうなので、困ります。予備を置く場所を考えなくてはなりません。	住宅地、商業地域での新規開業、石油系ドライ設備はダメでしょうが、既存の店舗についてはドライ機の入れ替え、店舗改装は絶対に認めてもらいたい。	塩素系溶剤は体を害するので使いたくない。(癌との関連性があるので)フッ素系溶剤は、設備機械が高kオゾン層破壊等環境にも悪い。	
	消防法で1.8ℓ缶3缶まで置いてよいときいていましたから1缶だけ置いています。	現況で認めてほしい。	非石油系は体によくない	材料費が高額になり、料金に上乘せすることがむずかしい
	ドライ機のタンク中と1斗缶で2本ほど	このままの状態で行いたい		衣料品の値段が下がり続け、クリーニング代金がつけられない
生野	石油系溶剤の中でもできるだけ引火性の低いものを使用し、できるだけ在庫せず、必要な時に必要な量を注文している。鉄筋コンクリートの部屋の中で使用し、それ以外では使用していない	50年以上前から許可をもらって営業しているので店の周りに住居等が増えて住居系地域にかわっていたとしても特例で営業を続けさせてほしい。店舗を移転させる場合、移転費用や設備等の費用を支援してほしい。価格競争が激しい業界なので、個人店の保護をしてほしい	石油の高騰等による利益の圧迫がもろに響く業界なので、是非ともこのようなときは救済措置をとってほしい、とくに個人店向けに	景気の悪化によりお客さんの財布のひもが固くなっている。少しでも景気が上向くことを望む。
摂津	消防法に従って管理。ゾール系(石油系)が多い。フッ素系も出ているが高いし、専用設備が必要で今の経済情勢のもとで手が出せない。	今回なぜ用地確認が必要なのは疑問。今でも短納期、低単価の大手の参入が厳しい。住宅地での営業に規制がかけられたら中小は取次だけで工場地域に工場を持てる大手の独占業界になるのは明らか。		溶剤価格が上がってきているのが気になる。前回の高騰分は全然転嫁できていない。最近では素材開発も活発でそうした素材に対応できるように勉強会なども行っている
守口	ゾールを使用。ほとんどの素材が洗えるので一番使える。フッ素系での洗いが必要なものは外注に出している、毎月18ℓ余罪を10～15本使用しているが、管理については消防の調査などもクリアしている。	今、起きている火事はポケットのライターの爆発など溶剤管理の問題ではないと思う。ゾール自体に直接火をつけても引火しない。揮発の問題はあるかもしれないが、管理方法の問題。住宅地での営業が規制されたら大変なことになるのでは。クリーニング店への規制はこれまでも強化の方向。ボイラーの設置や使用方法など様々。用地用途きせいではなくても規制はできる。	材料の価格が高止まりのまま。溶剤1本2000円前後→3500円前後になっている。弟と一緒にやっていたが外に行ってもらうことになり、今は夫婦2人。昨年、価格の値上げをしたがお客は増えている。手抜きはしない。技術を磨いてお客さんの信頼を得るしかない。宣伝なども力を入れている。それでも低価格商品の影響は大きい。多くの同業者が高騰分を転嫁できず、仕事減の中で必死。自分は値段をあげる覚悟ができたがそれでも大変。材料の安定供給と営業と生活ができる仕組みづくりが必要だと思う。国もそういうことに心血を注いでほしい	

兵庫	伊丹	管理している	保健所から封筒が届いていたような…返信する予定はないけれど。	特に要望はないが、気にはなる	
	伊丹		まだ来ていない	液の置場所や廃液の置場所を新しく設置して欲しいとか言うだけでも大変なのに、設備の購入はやめて欲しいと思う	
	伊丹	管理している	保健所と組合から調査あり	そこまでは考えていないが、規制より、景気を先になんとかして欲しい	
	伊丹	室内に置いてある。倉庫なし	保管場所の設備を課せられた場合、補助を	現在使用している溶剤が制限される場合は、補助をして欲しい。個人企業は大手に比べ、経営が厳しい	
	伊丹	必要な量だけ業者に注文	長期にわたる不況で個人経営するクリーニング業者には大変厳しい状況であるにもかかわらず、もし何らかの規制がかけられてしまうと、これからの営業は成り立たないので、金銭的負担が増える規制はやめてほしい。		
	西宮		住宅地域で石油溶剤を使っているクリーニング店は全体の70%~80%もある。現実をもう少し認識すべきである	今になって石油系溶剤の用途地域の規制強化は現実にそったものではない。近隣住民に石油系溶剤などに関して誤った認識を持たれる事が不安	
	宝塚	消防法により90ℓ以内で管理		値上がりした溶剤は下がりません。その前にクリーニング品が家庭で洗うことにより、出ません。景気をよくしてください。	
	神戸親和	引火洗剤は使用せず、水洗い仕上げ	ナイロン袋が昨年3月から値上げされた	衣類の低価により、家庭で洗うようになり、5割減少している。クリーニングの廃業が多くなっている。高齢になってあととりがない	
		予備は置いておらず、無くなる前に業者に持ってきてもらう ドライゾールの保管はタンクで100ℓ以下でしており、ドライ機で循環。たまったカスは業者に依頼して廃棄処分	現在と同じような状況で営業できるようにして欲しい。新たな設備投資は営業存在にかかわってきて困難		
	神戸	ドライ機のタンク内に入った通	現在の小規模店で使用されている小容量のものは、現在地で使用できるような条例を	不況下で売上低下が止まらない現在では、設備投資に費用がかけられないので、例えば石油溶剤の機械を完全防火できるようなものの開発を望む(低価格で)繁忙期の短期間で利益の上がる業種ではなくなっている	
長田	ゾールはドライ機のタンク内に常備100ℓ。18ℓは缶で予備に置く。産業廃棄物は仕入材料店で引き取ってもらう				

厚	はりま	保管場所を決めている	店舗の改造も難しくなってしまう	石油製品の高騰により、材料費が高くて困る。お客様に値上げするのができず、経営難に陥る。表示タグのクリーニング方法に不備(特に中国産)、低価格競争によりお互いが潰し合う	
	赤穂	4ℓの小さい缶なので家の隅に置いている。カートリッジのものは少なくなれば産廃業者が持っていく	規制強化ではなく、もっとゆるくしてほしい。家庭のプロパンガスも同じでは。	一時、2倍の価格だったが、今は1.5倍位、もっと安くしてほしい。仕事がだんだん減っている	
	須磨	H8年現在の完全密閉型非石油系ドライクリーニング機に変更。石油系機械に比べ、設備価格が3~4倍高い。溶剤は1.5~2倍高い。オールコンピューターで運転管理。オールステンレス製で溶剤漏れはなく、コンピューターによるスチームを使用した溶剤管理と温度管理をしている	現在まで、法令順守、建築基準、近隣住民への配慮、水・下水・地下水・大気汚染防止をクリアしている。ランニングコストは石油より高く、現在の不況下で営業を継続していくことは大変で、環境を守る、顧客の良質要望に応える難しさを実感している。	今日の問題は、その当時より業界の内外で語られていた事でもあり、多くの業者がその事に目を伏せていたのも事実。今日を予期していた事であり、問題を先送りしてきた結果と言える。業界は現在も料金値下げ競争が続いている。どれがいいか、悪いか敏感に見極める目線の感覚が必要。ドライクリーニングを減らす、(水・ウエットクリーニング)に移行する。コストダウンでは電気・水道料金の高さが問題。	
	神戸西	ポリタンクで保有		非石油系溶剤の価格よりも設備機械の購入が無理	
	西宮	ポリ容器に入れて室内管理		設備の老朽化で、政府から指導があったら、廃業も考えざるをえない	
		今まで通り 屋内に置いています		設備機械の音など、近隣に迷惑をかけているのでは？	
		保健所の指示通り。毎年OKをもらっている		2代目だが、次の後継のことで不安	
	明石	1斗缶4つ、コンクリートの枠で困った所(屋内)に置いている。廃棄物8千円、カートリッジ2万円余	これからはやれるように	ドライ溶液の回収装置は500万円もすると聞いた。そんなのはとても無理。	
	明石	機械内のタンクに入っている分が少なくなったら、機材商がローリーで入れに来る(予備のポリタンクは一つある) 消化器も設置してある。	産業廃棄物となれば費用が高い。主人が休んでいると入れかえも人に頼むのでさらに高くなる。	組合でも話が出ていてすでに調査に来たところもあった。機材商からも文書が来ていた。	